

学校教育係

— 今後の授業改善に向けて④(指導案検討における「ねらい」の吟味) —

今回は、学習指導要領解説、国立教育政策研究所の資料、教科書を基に教材研究を充実させ、学習指導要領の目標や内容を踏まえた適切な「ねらい」を設定する方法を紹介しました。今回は、「ねらい」に記述されている「…を考える」「…を工夫する」などのキーワードを具体化し、子どもに身に付けさせるべき内容や資質・能力を明確にしていく方法を紹介し、各学校の指導案検討において是非活用してください。

研修主任 今回の指導案検討では、「ねらい」に示された言葉を丁寧に確認し、子どもが「何を」「どのように」「どこまで」できればいいのかを具体化しよう。

それよりも「楽しい活動」や「活発な活動」にするためのヒントが欲しいなあ。

授業者 えっ！「ねらい」しか検討しないの？

【ねらい(例)】 伴って変わる2つの数量の関係を考えることができる。(4年算数：かわり方)

[教科書の問題(例)]

一辺が1cmの正方形を並べて、右の図のような階段の形をつくります。
だんの数とまわりの長さには、どんな関係があるか調べましょう。

1だん 2だん 3だん 4だん ...

「関係を考える」とは、どういうことでしょうか？(学習指導要領解説、国立教育政策研究所の資料、教科書を基に検討)

関係を考えるためには、決まりを見いだす必要がありそうだよ。
…対応の決まりを見だし、それらの関係を考える。
[国研の資料]

決まりを見つけ出すには表がいんですね。
…表などに整理して、共通の決まりを見つけだしていく…
[学習指導要領解説]

段の数	1	2	3	4
周りの長さ	4	8	12	16

表からわかる決まりって何ですかね？

教科書を見ると…
①段の数が1増えると周りの長さは4ずつ増える。
②周りの長さは段の数の4倍になる。
この2つが決まりだね。

教科書では②の決まりを
[段の数] × 4 = [周りの長さ]
という式に表している。「関係を考える」とは、ここまですを指しているんだね。

「ねらい」を吟味したら、およその評価項目が見えてきたね。
伴って変わる2つの数量の関係について、表から変化や対応の決まりを見だし、言葉の式を考える。

「楽しい活動」を考える前に、確実に押さえるべきことや、考えさせる必要があるのよね。次は、実態を考慮して全員が「ねらい」を達成できるような「楽しい学習活動」を考えよう！

不思議！「ねらい」を話し合っているうちに、授業のイメージが湧いてきた！